

### 第3章 最終評価とこれまでの取組および今後の課題

## 1. 評価の方法と全体評価

---

### (1) 評価の方法

健康びぜん21の各ライフステージの指標と食育推進計画の指標、全89項目を、現状値が目標値に達している(◎)、現状値が中間評価時(H20)に比べて改善しているが目標値には達していない(O)、現状値が中間評価時に比べてほとんど変化がない(△)、現状値が中間評価時よりも悪化している(×)の4段階で評価しました。評価の一覧については、P31～P36に掲載しています。

### (2) 全体評価

評価区分		項目数 (全89項目)	割合
◎	目標に達した	21	23.6%
O	改善しているが目標値には達していない	27	30.3%
△・×	変化なし・悪化している	41	46.1%

健康びぜん21・食育推進計画の最終評価は、目標に達したものが23.6%、改善しているが目標値には達していないものが30.3%、変化がないおよび悪化しているものが46.1%となり、達成・改善しているものと変化なし・悪化しているものが約半数ずつといった結果となりました。

## 2. 健康びぜん 21 の最終評価とこれまでの取組

### (1) 乳幼児期(0～6歳) 目標：規則正しい生活リズムを身につけよう

#### ① 指標の達成状況と評価

評価区分		項目数 (全8項目)	割合
◎	目標に達した	1	12.5%
○	改善しているが目標値には達していない	6	75.0%
△・×	変化なし・悪化している	1	12.5%

- 夜9時までに寝る、朝食を毎日食べる、夜食を食べない、間食回数が3回以上の割合の減少といった生活習慣の改善については、目標値には達していないものの、指標の改善がみられました。
- 寝る前の仕上げみがきの実施率についても、目標値には達していないものの、改善がみられました。
- むし歯のある子どもの割合は、2歳6か月児では変化がありませんでしたが、1歳6か月児と3歳6か月児では改善がみられました。

#### ② 目標に対するこれまでの取組

目標	取組
規則正しい生活リズムを身につけよう	
早寝早起きの生活リズムを整えよう	乳幼児健診やかみかみ離乳食と歯の教室等で、おやつとの与え方やブラッシングの個別指導、生活リズムの確立に向けた保健指導などを継続して行いました。
3食きちんと食べよう	より早期からのむし歯予防のために1歳6か月児健診でカリオスタート検査を子どもだけでなく保護者にも実施し、保護者への歯の健康づくりの普及啓発の取組を行いました。さらに、保護者の歯周病・むし歯予防の意識の向上と、より早期からの子どものむし歯予防の啓発につながるよう妊産婦歯科健診を実施しました。すこやか相談室、育児相談においても、一人ひとりの生活に合わせた保健・栄養指導を行いました。
おやつのお食べ方に気をつけよう	
寝る前の仕上げみがきをしよう	こども応援フェスタや親子交流会など親子と関わるあらゆる機会をとらえて歯科医師、歯科衛生士、愛育・栄養委員会、保育園・幼稚園等が連携し、備前市の現状や早寝・早起き・朝ごはんの大切さ、むし歯予防の情報を保護者へ発信し、地域ぐるみでの取組を行いました。その結果、生活習慣の改善がみられ、むし歯のある子どもが減少傾向にあります。

(2)学童・思春期(7～19歳) 目標：早寝 早起き 朝ごはん

①指標の達成状況と評価

評価区分		項目数 (全11項目)	割合
◎	目標に達した	8	72.7%
○	改善しているが目標値には達していない	1	9.1%
△・×	変化なし・悪化している	2	18.2%

- 朝食を毎日食べる人の割合は、中学生では増加し改善が見られましたが、小学生では変化がありませんでした。
- 平日、夜12時までには寝る割合は減少し、悪化しました。
- 学校教育については、禁煙教育・アルコールに関する健康教育・性に関する健康教育すべてで100%の実施率を維持しています。
- むし歯のある生徒の割合は減少し、目標値に達しました。
- 肥満（中等度・高度肥満）の割合は減少し、目標値に達しました。

②目標に対するこれまでの取組

目標		取組
早寝 早起き 朝ごはん	朝ごはんを毎日食べよう	学校保健委員会、備前市学校栄養士会などによる小中学校と行政との連携を行い情報の共有を行いました。また生活習慣の改善に向けた講演会を地域や小中学校で行いました。
	夜更かしをしない	学校教育にて喫煙、アルコール、性に関する健康教育を全小中学校で実施しました。
	自分の体に関心をもとう	栄養委員会による親子料理教室や食育教室、出前授業、啓発の寸劇、意見交換会の開催を通じて食や生活習慣について普及啓発を行いました。 以上の取組により、平日夜12時までには寝る生徒（中学生）の割合以外は改善傾向にあります。

### (3)青・壮年期(20～39歳) 目標：バランスのよい食事と禁煙

#### ①指標の達成状況と評価

評価区分		項目数 (全19項目)	割合
◎	目標に達した	5	26.3%
○	改善しているが目標値には達していない	6	31.6%
△・×	変化なし・悪化している	8	42.1%

- 食事を毎日3食食べている割合は、男性では増加し改善がみられましたが、女性では減少し、悪化しました。
- 食品を選んだり、食事を整えるのに困らない知識や技術のある人の割合は、女性では増加し目標値に達成しましたが、男性では減少し、悪化しました。
- 週2日以上運動している割合は、男性では目標値に達し、女性でも改善がみられました。
- 睡眠時間が6時間未満の人の割合は増加し、悪化しました。
- ストレスを上手く解消できている人の割合は、男性では増加し改善が見られましたが、女性では減少し、悪化しました。
- 喫煙者の割合は、男性では減少し目標値に達しましたが、女性では増加し、悪化しました。
- 多量飲酒者の割合は減少し、改善がみられました。
- 歯科定期検診を受ける者の割合は増加し、目標値に達しました。
- がん検診の受診率は、子宮頸がん検診では目標値に達し、乳がん検診でも改善がみられました。
- 節目健診の受診者数は減少し、悪化しました。

#### ②目標に対するこれまでの取組

目標	取組	
バランスの良い食事と禁煙	バランスの良い食事をとろう	乳幼児健診や育児相談、子ども応援フェスタ等あらゆる機会を活用して、保護者に朝食摂取の大切さについて情報発信を行いました。
	ストレスと上手に付き合いおおう	職域では、東備地域産業保健センターによる健康・メンタルの相談指導を実施しました。地域では、引きこもり予防や自立へのきっかけとなるサロンを運営し、作業所や職場への社会参加へもつながっている人がいます。また、子育て中のストレス軽減のため、NPO 子育てひろばや子育て支援センターなどの情報提供を行いました。
	禁煙にチャレンジしよう	女性の喫煙が増えているため、母子健康手帳の交付時や子ども応援フェスタにて若い夫婦を対象に禁煙パイポを配布するなど禁煙指導を実施しました。また、禁煙週間にあわせて、禁煙情報の展示による啓発を実施しました。
	健診(検診)を受けよう	行政と愛育委員が協働し「レディース検診ひろめ隊」となり、検診のPRを行いました。がん検診、子宮頸がん検診の20歳・25歳・30歳・35歳の無料クーポン券送付やナイター検診の導入など受診体制の整備を行うことで受診率が向上し、目標を達成しました。

#### (4) 中年期(40～64歳) 目標：健診(検診)を受けよう

##### ① 指標の達成状況と評価

評価区分		項目数 (全28項目)	割合
◎	目標に達した	3	10.7%
○	改善しているが目標値には達していない	8	28.6%
△・×	変化なし・悪化している	17	60.7%

- 自分の食事に問題がある人のうち、改善意欲のある人の割合は減少し、悪化しました。
- 週2日以上運動している人の割合は減少し、悪化しました。
- 睡眠時間が6時間未満の人の割合は増加し、悪化しました。
- 睡眠による休養が十分にとれていない人の割合は変化がありませんでした。
- ストレスを上手く解消できている人の割合は減少し、悪化しました。
- 喫煙者の割合は、男性では減少し改善しましたが、女性では増加し、悪化しました。
- 多量飲酒者は減少し、目標値に達しました。
- 60歳代で自分の歯を20本以上もつ者の割合は減少し、悪化しました。
- 歯科定期健診、年に一度の健診、国保特定健診の受診者数についてはいずれも減少し、悪化しました。
- 血圧高値者、善玉(HDL)コレステロール低値者、BMIが25以上の人、ヘモグロビンA1c5.5%以上の人の割合は減少し、いずれも改善がみられました。
- がん検診受診率は、子宮頸がん・肺がんでは増加し目標値に達しましたが、乳がん・胃がん・大腸がん・前立腺がんでは減少し悪化しました。

##### ② 目標に対するこれまでの取組

目標	取組
健診(検診)を受けよう	行政と愛育委員が協働し「検診ひろめ隊」となりがん検診と特定健診の受診のPRを行いました。検診体制の整備として個別検診では子宮頸がん検診と大腸がん検診を新たに開始しました。集団検診では、3セット検診やレディース検診としてがん検診を複数セットにすることで受診者数が増加しました。
生活習慣を見直そう (食事・運動・休養)	希望者のニーズに沿った特定保健指導や個別相談ができるよう体制整備を行いました。また、文化祭など市民の集まる場所での健康相談を実施しています。
禁煙にチャレンジしよう	禁煙週間にあわせて、禁煙情報の展示による啓発を実施しました。また、特定保健指導にて禁煙支援を実施し、禁煙できた人もあり、効果をあげています
歯周病を予防しよう	和気歯科医師会による啓発パンフレットの配布、講演会を実施しました。また、愛育委員と協働して一般市民も含めた歯科講演会を実施し、普及を行いました。

(5)高齢期(65歳以上) 目標：転倒を予防するために無理のない運動を習慣づけよう

①指標の達成状況と評価

評価区分		項目数 (全23項目)	割合
◎	目標に達した	4	17.4%
○	改善しているが目標値には達していない	6	26.1%
△・×	変化なし・悪化している	13	56.5%

- 食事が楽しい人は増加し、改善がみられました。
- 週2日以上運動をしている人の割合は増加し、改善がみられました。
- 喫煙者の割合は、男性では減少し目標値に達しましたが、女性では増加し、悪化しました。
- 70歳代で自分の歯を20本以上もつ者の割合は増加し目標値に達しました。
- 介護保険認定率は増加し、悪化しました。
- 国保特定健診の受診率は減少し、悪化しました。
- 善玉(HDL)コレステロール低値者、BMIが25以上の人の割合は減少し、改善がみられました。
- ヘモグロビンA1c5.5%以上の人の割合は増加し、悪化しました。
- がん検診受診率は、乳がんと大腸がんでは増加し目標値に達しましたが、子宮頸がん・肺がん・胃がん・前立腺がんでは減少し悪化しました。

②目標に対するこれまでの取組

目標	取組	
転倒を予防するために無理のない運動を習慣づけよう	食生活を楽しもう	介護予防教室で口腔機能向上や低栄養予防等の指導を実施しました。また栄養委員会・保健所が、元気高齢者食生活サポート教室やふれあい座談会を開催した結果、食事が楽しい人の増加につながりました。
	加齢に伴う機能低下を防ごう	65歳以上の方に基本チェックリストを実施し、特に介護予防が必要な方をスクリーニングしました。介護予防教室を地域で実施し、運動機能向上、口腔機能向上、低栄養予防の普及を図りました。また、認知症の悪化を予防するため認知症予防教室を実施するとともに、認知症についての正しい知識を普及し、地域での支援者を養成しました。介護予防サービスを適正に利用して、機能低下を防ぐ支援を行いました。スポーツ推進委員ではニュースポーツを地域に普及し、高齢者の体力の増進の取組を行いました。
	地域行事への参加や趣味の活動などで、日々を楽しく過ごそう	サロン活動の運営、支援を行うおたっしゅ応援隊(介護予防ボランティア)の養成を行っています。年々養成数が増え活動が活発に行われています。介護予防教室終了後も、継続して定期的に外出し、仲間との交流が図れるよう、介護予防の取組の拠点となるサロンへの展開を支援しています。その結果、各地区に拠点が増え、おたっしゅ応援隊の活躍できる場ともなっています。
	健診(検診)や生活機能評価を受けよう	検診体制の整備として個別検診では子宮頸がん検診と大腸がん検診を新たに開始しました。集団検診では、3セット検診やレディース検診といったがん検診を複数セットにすることで受診者数が増加しました。かかりつけ医と連携し、特定健診・健診受診を促しました。今後も受診者のニーズにあった検診体制の整備が必要と考えます。

### 3. 備前市食育推進計画の最終評価とこれまでの取組

#### ①指標の達成状況と評価

評価区分		項目数 (全17項目)	割合
◎	目標に達した	6	35.3%
○	改善しているが目標値には達していない	5	29.4%
△・×	変化なし・悪化している	6	35.3%

- 食育に関心のある人は増加し、改善がみられました。
- 朝食を毎日食べる人の割合は、青・壮年期の男性は増加し目標値に達しました。青・壮年期の女性、中学生、3歳6か月児では増加し改善がみられました。小学生では変化がありませんでした。
- 食事バランスガイドの言葉も内容も知っている人は減少し、悪化しました。
- メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を認知している人は減少し、悪化しました。
- 食品を選んだり、食事を整えるのに困らない知識や技術のある人は増加し、目標値に達しました。
- 自分の食事に問題があると思う人のうち、改善意欲のある人は減少し、悪化しました。
- 外食や食品購入時に栄養成分表示を参考にする人は増加し、改善がみられました。
- 栄養成分表示に協力する施設数は増加し、目標値に達しました。
- 調理体験を実施している保育園、幼稚園は増加し、目標値に達しました。
- 農業体験を実施している保育園、幼稚園は増加し、目標値に達しました。
- 食事が楽しい人は減少し、悪化しました。
- 学校給食における地場産物（岡山県産品）を使用する割合は増加し、目標値に達しました。



## ②目標に対するこれまでの取組

### 【食を知る】

目標	食に関する知識を身につける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食のバランスがわかる</li> <li>・規則正しい食生活ができる</li> <li>・食事のマナーを身につける</li> <li>・体に良い食べ物や、安心、安全な食品を選ぶ力を身につける</li> </ul>
取組		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関、団体が主体的に取り組み、食に関する学習の機会の充実に努めました。その結果、食育に関心のある人や、食品を選んだり、食事を整えるのに困らない知識や技術のある人の増加につながりました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>【保育園、幼稚園、学校】 給食だよりや試食会の開催等を通して、保護者への働きかけを行いました。またPTA活動等を通じて、保護者自身の学習の機会が展開されています。</li> <li>【栄養委員会】 伝達講習会や減塩普及活動、メタボリックシンドローム改善支援事業等を行い、生活習慣病予防の知識や実践方法を伝達しました。</li> <li>【栄養士会】 災害に備えた食生活講習会、食生活相談を実施しました。</li> <li>【食品衛生協会】 食品衛生指導活動、食品衛生優秀店表示事業を実施しました。</li> <li>【老人クラブ】 会員の健康づくりを目的に料理教室を開催しました。</li> <li>【地域包括支援センター】 高齢者の“食べること”を支援する教室の開催や、介護予防教室や訪問栄養指導等を通して、低栄養状態の予防や改善方法の指導を行いました。</li> <li>【保健課】 栄養教室、健康教室、健康相談、特定保健指導を実施し、食の正しい知識や実践方法の啓発や情報提供を行いました。</li> </ul> </li> <li>・ 関係機関、団体がそれぞれの専門性を活かしつつ、相互に連携しながら早寝 早起き 朝ごはんの普及啓発活動を行った結果、3歳6か月児、中学生、青・壮年期の朝食欠食率の減少につながりました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>【保健課】 乳幼児健診やかみかみ離乳食と歯の教室、育児相談等での栄養指導や、NPO主催の食育サロンや子ども応援フェスタ等のイベント等の機会を活用し、朝食の大切さについて重点的に呼びかけました。</li> <li>【保育園、幼稚園】 発達段階に応じて、基本的な生活習慣の習得を促し、食への興味を育てる取組を実施しました。</li> <li>【学校】 給食時間や教科、学級活動等で、食に関する指導を実施しました。 併せて、学校保健委員会や保健だより等で、保護者への働きかけを行いました。</li> <li>【栄養委員会】 学校、幼稚園、保育園等と連携し、朝食毎日食べよう大作戦を実施しました。 寸劇や人形劇等により朝食の大切さをわかりやすく伝えました。また、緑陽高校文化祭で朝食の出前健康教育を実施しました。</li> </ul> </li> <li>・ 栄養士会や保健所が中心となり、メニューや食品に栄養成分を表示する店を登録する取組を実施しました。市内の飲食店等に働きかけた結果、栄養成分表示に協力する施設件数は目標値を達成しました。また、外食や食品購入時に栄養成分表示を参考にする市民も増加しました。</li> <li>・ 市立病院、栄養士会が糖尿病患者やその家族、市民を対象に、糖尿病教室を開催しました。また平成25年度から、栄養士会が医療機関と連携した病態栄養指導、日生病院が糖尿病透析予防指導を開始し、重症化予防を目的とした取組が始まりました。</li> <li>・ 食に関係する機関・団体による食育推進専門委員を設置、また、食育実務者による栄養改善業務推進会議を開催し、食育推進のためのネットワークづくりを行いました。各機関・団体が互いの活動を知ること、手をつなぐきっかけとなり、連携の輪が広がっています。</li> </ul>		

## 【食をつくる】

目標	体験を通じて食に関心を持つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理する力を身につける</li> <li>・作物を育てる</li> </ul>
	食べ物を大切にす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝の心を持つ</li> </ul>
取組		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、幼稚園、学校では、園や学校の実情に応じて栽培、収穫、調理体験を実施しており、体験型の食育が広がりました。JAや漁協、老人クラブ、民生・児童委員、栄養委員会や生活交流グループ等と連携した園や学校もあり、地域ぐるみで食への感謝の気持ちを育てる取組を実施しました。</li> <li>・栄養委員会、学校、JA等が、親子料理教室や子ども料理教室を開催し、作る楽しさや食べる喜びを体験する機会の充実に努めました。</li> <li>・栄養委員会が、老人クラブや公民館等と連携しながら、男性料理教室や元気高齢者食生活サポート教室を実施しました。基本的な料理の技術を習得し、健康に配慮した食生活を送るための知識と実践方法を周知しました。</li> <li>・保育園、幼稚園、学校が、給食の時間を活用して、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつや、好き嫌いなく食べるなど、基本的な食事マナーの習得を図りました。</li> </ul>		

## 【食を楽しむ】

目標	食を通じて交流する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や友人、地域の人と食事をしながら、コミュニケーションを深める</li> <li>・大切な人のために食事を作る喜びや達成感を実感する</li> </ul>
	食事がおいしく食べられる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五感（視覚、触覚、味覚、聴覚、嗅覚）を育てる</li> <li>・自分の口（歯）で食事をする</li> </ul>
	行事食、郷土料理等の食文化を伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備前市の地場産物や旬の食材を食事に取り入れる</li> <li>・備前の郷土料理等を次世代へ伝える</li> </ul>
取組		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養委員会・保健所が、東備・元気・長生き大作戦を実施。週1回の買物で簡単に栄養バランスがとれた食事づくりができる方法を紹介した“おいしい かんたん 料理レシピ”と“食品摂取チェック表”を作成、活用し、元気高齢者食生活サポート教室を実施しました。また、教室の修了生が調理した料理で地域の仲間や家族をもてなすふれあい座談会を開催し、高齢者の食への関心を高める活動を実施しました。</li> <li>・愛育委員会、栄養委員会が、未就園の乳幼児と保護者を対象に、親子交流会を実施し、親子遊びや調理実習、試食を通して交流を深めました。</li> <li>・自治会や民生・児童委員、老人クラブ、社協等が、敬老会や高齢者憩いの場等を通じて、料理教室や食事会等、食を通じた交流の場の提供に努めました。</li> <li>・学校給食において、地元の食材（岡山県産品）の使用に努めた結果、地場産物の使用割合が増加し、目標を達成しました。</li> <li>・JAや生活交流グループ等が備前特産のイチジクを使用した加工品を開発し、加工品を使ったレシピを考案、料理講習会を開催するなど普及に努めました。</li> <li>・商工会議所が備前産品を使用したスイーツ、備前カレーの商品化を行い、普及に努めました。</li> <li>・JA、漁協、商工会議所等が、直売所やイベント等で、地場産物や特産品の販売、PRを行いました。</li> <li>・栄養士会が地産地消と魚の消費拡大を目的に、魚料理講習会を開催しました。また、栄養委員会や生活交流グループが、地元の食材や郷土料理を取り入れた料理教室を実施し、地産地消、郷土料理の伝承に努めました。</li> <li>・保育所や学校給食において、行事食や郷土料理をメニューに加え、食文化の伝承を図りました。</li> </ul>		

#### 4. 生涯を通じた健康づくりのための環境整備・地域づくりのこれまでの取組

##### 取組

- 民生・児童委員として、登下校時のあいさつ運動をはじめ、高齢者の訪問や、介護予防教室への参加の声かけなど、幅広く声かけを行い、安心・安全な地域づくりをすすめてきました。  
また、自治会では、まつり等の地域の行事を開催し、子どもから高齢者までが集う場となりました。
- 愛育委員会では、お誕生おめでとう訪問を行い、親子との関係づくり・子育て支援を行いました。さらに、愛育委員会・栄養委員会では、親子の孤立を防ぐために、各地区で親子交流会を行い、母親同士の仲間作りや愛育・栄養委員との顔つなぎの場となりました。
- 地域包括支援センターでは、おたっしゅ応援隊を養成・育成し、高齢者が生き生きと地域で活躍できる場づくりを行うとともに、介護予防教室から高齢者が集うサロンへの継続を支援し、高齢者の孤立予防と高齢者同士の見守りや声かけにもつながりました。
- 体育指導推進委員会ではニュースポーツを地域に普及し、高齢者の体力の増進を行ってきました。
- これまでの健康づくり推進協議会の話し合いを通して、各世代のさまざまな健康課題解決のためには、個人・家庭の健康づくりの取組だけではなく、地域の各組織・団体が連携しながら、個人・家庭の健康づくりを推進していく必要があるということを確認しました。

## 5. 健康びぜん21・備前市食育推進計画 評価指標状況一覧

### 1 乳幼児期 (0～6歳)

### ～育もう！きらきら輝く子どもたち～

- ◎ 現状値が目標値に達している
- 現状値が中間評価時(H20)に比べて改善しているが目標値には達していない
- △ 現状値が中間評価時(H20)に比べてほとんど変化がない
- × 現状値が中間評価時(H20)よりも悪化している

指 標	目標値 (H25)		現状値	中間 評価時 (H20)	評価	出典
	1歳6か月児	80%以上				
夜9時までに寝る子どもの増加	1歳6か月児	80%以上	75.2%	65.1%	○	A
朝食を毎日食べる子どもの増加	3歳6か月児	95%以上	92.8%	89.5%	○	A
夜食を食べない子どもの増加	3歳6か月児	50%以上	46.7%	40.8%	○	A
1日の間食回数が3回以上の子どもの減少 (規則性なし含)	3歳6か月児	15%以下	22.7%	24.9%	○	A
むし歯のある子どもの割合の減少	1歳6か月児	1.4%以下	2.2%	3.3%	○	A
〃	2歳6か月児	10%以下	12.8%	13.1%	△	A
〃	3歳6か月児	30%以下	16.9%	34.7%	◎	A
寝る前の仕上げみがき実施率の増加	3歳6か月児	98%以上	94.4%	92.5%	○	A

A：備前市幼児健診データ（平成24年度）

## 2 学童・思春期 (7～19歳)

### ～翔こう！心も体も元気はつらつ～

- ◎ 現状値が目標値に達している  
 ○ 現状値が中間評価時(H20)に比べて改善しているが目標値には達していない  
 △ 現状値が中間評価時(H20)に比べてほとんど変化がない  
 × 現状値が中間評価時(H20)よりも悪化している

指 標	目標値 (H25年度)		現状値	中間 評価時 (H20)	評価	出典
朝食を毎日食べる人の増加	小学生	95%以上	89.3% (5年生)	89.7% (6年生)	△	B
	中学生	85%以上	81.2% (2年生)	75.2% (3年生)	○	B
平日、夜12時までに寝る生徒の割合の増加	中学生	95%以上	82.7%	90.5% (※1)	×	B
禁煙教育の実施率	小学生	100%	100%	100%	◎	C
	中学生	100%	100%	100%	◎	
未成年者へのアルコールに関する健康教育の実施率	小・ 中学生	100%	100%	100%	◎	C
性(性や生殖)に関する健康教育の実施率	小・ 中学生	100%	100%	100%	◎	C
むし歯のある生徒の割合の減少	小学生	35%以下	31.2%	38.9%	◎	D
	中学生	50%以下	42.6%	58.4%	◎	
肥満(中等度・高度肥満)の減少	小学生	3%以下	2.8%	3.5%	◎	E
	中学生	5%以下	4.7%	6.0%	◎	

※1 中学校養護部会 「生活習慣アンケート調査」(H19年度) 対象：市内中学1～3年生

- B：備前市学校栄養士会 「児童生徒の食生活・日常生活習慣等の調査」  
 対象：市内小学5年生、中学2年生(平成25年度)  
 C：備前市養護部会資料(平成24年度)  
 D：学校保健概要調査票(平成24年度)  
 E：備前市小・中学校(学校教育課)健診結果(平成24年度)

### 3 青・壮年期 (20～39歳)

### ～油断大敵！心と体のSOS～

- ◎ 現状値が目標値に達している
- 現状値が中間評価時(H20)に比べて改善しているが目標値には達していない
- △ 現状値が中間評価時(H20)に比べてほとんど変化がない
- × 現状値が中間評価時(H20)よりも悪化している

指 標	目標値 (H25年度)		現状値	中間 評価時 (H20)	評価	出典
食事を毎日3食食べている人の増加	男	60%以上	58.3%	56.1%	○	F
	女	85%以上	74.4%	77.2%	×	
食品を選んだり、食事を整えるのに困らない 知識や技術のある人の増加	男	40%以上	31.7%	35.1%	×	F
	女	55%以上	70.7%	48.1%	◎	
週2日以上運動をしている人の増加	男	40%以上	43.3%	35.1%	◎	F
	女	35%以上	34.1%	27.8%	○	
「睡眠時間が6時間未満の人」の割合の減少	35%以下		51.4%	42.6%	×	F
「睡眠による休養が十分にとれていない人」の 割合の減少	17%以下		25.4%	19.2%	×	F
「ストレスを上手く解消できている人」の 割合の増加	30歳代	45%以上	42.9%	男31.0%	○	F
			36.5%	女42.2%	×	
喫煙者の減少	男	45%以下	36.7%	50.9%	◎	F
	女	3%以下	11.0%	5.1%	×	
1日に平均純アルコールで約60gを超える 多量飲酒者の減少	2%以下		2.1%	2.9%	○	F
歯科定期健診を受ける者の割合の増加	25%以上		33.1%	19.1%	◎	F
がん検診受診率の増加 子宮頸がん検診	40%以上		46.4%(※2)	35.4%(※2)	◎	F
	—		10.3%	7.8%	○	G
" 乳がん検診	30%以上		21.2%	28.8%	×	F
	—		27.4%	13.9%	○	G
節目健診の受診者数の増加 (30歳・35歳) (※3)	50人以上		24人	40人	×	G

※2 子宮頸がん検診 (隔年受診含む)

※3 節目健診(平成22年～平成24年の3年間の平均受診者数)

F：備前市健康づくりに関するアンケート調査結果(平成25年度)

G：備前市がん検診等結果(平成24年度)

4 中年期 (40～64歳)

～蓄えよう！友と気力と体力を～

- ◎ 現状値が目標値に達している
- 現状値が中間評価時(H20)に比べて改善しているが目標値には達していない
- △ 現状値が中間評価時(H20)に比べてほとんど変化がない
- × 現状値が中間評価時(H20)よりも悪化している

指 標	目標値 (H25年度)	現状値	中間 評価時 (H20)	評価	出典
自分の食事の問題があると思う人のうち、改善意欲のある人の増加	男 80%以上	54.2%	68.1%	×	F
	女 90%以上	69.8%	87.5%	×	
週2日以上運動をしている人の増加	40歳代 50%以上	33.3%	41.9%	×	F
「睡眠時間が6時間未満の人」の割合の減少	35%以下	49.0%	37.5%	×	F
「睡眠による休養が十分にとれていない人」の割合の減少	20%以下	23.2%	23.2%	△	F
「ストレスを上手く解消できている人」の割合の増加	50%以上	35.6%	48.2%	×	F
喫煙者の減少	男 40%以下	42.0%	48.1%	○	F
	女 2.5%以下	8.0%	3.3%	×	
1日に平均純アルコールで約60gを超える多量飲酒者の減少	3%以下	2.6%	3.6%	◎	F
60歳代で自分の歯を20本以上もつ者の割合の増加	65%以上	57.6%	62.7%	×	F
歯科定期健診を受ける者の割合の増加	30%以上	26.3%	27.1%	×	F
年に一度健診を受ける者の割合の増加	80%以上	70.6%	78.2%	×	F
国保特定健診の受診率の増加	65%	19.6%	2.9%	×	H
血圧高値者の減少	25%以下	29.3%	31.3%	○	H
善玉(HDL)コレステロール低値者(40mg/dℓ未満)の減少	5%以下	5.2%	6.5%	○	H
BMIが25以上の人の割合の減少	20%以下	24.7%	26.3%	○	H
ヘモグロビンA1c5.5%以上の人の割合の減少	15%以下	20.9%	22.0%	○	H
がん検診受診率の増加 子宮頸がん検診	60%以上	60.8% (※2)	58.7% (※2)	◎	F
	—	28.1%	27.3%	○	G
" 乳がん検診	50%以上	38.4%	41.3%	×	F
	—	35.1%	29.2%	○	G
" 肺がん検診	50%以上	69.1	77.9%	◎	F
	—	34.5%	45.6%	×	G
" 胃がん検診	40%以上	32.0%	39.6%	×	F
	—	12.4%	16.5%	×	G
" 大腸がん検診	40%以上	33.0%	34.6%	×	F
	—	31.3%	24.8%	○	G
" 前立腺がん検診	50～64歳 15%以上	8.6%	10.9%	×	G

※2 子宮頸がん検診 (隔年受診含む)

F：備前市健康づくりに関するアンケート調査結果 (平成25年度)

G：備前市がん検診等結果 (平成24年度)

H：備前市特定健診結果 (平成24年度)



## 5 高齢期（65歳以上）

～今からだ！生き生き輝く人生は～

- ◎ 現状値が目標値に達している
- 現状値が中間評価時(H20)に比べて改善しているが目標値には達していない
- △ 現状値が中間評価時(H20)に比べてほとんど変化がない
- × 現状値が中間評価時(H20)よりも悪化している

指 標	目標値 (H25年度)		現状値	中間 評価時 (H20)	評価	出典	
	男	女					
食事が楽しい人の増加	男	90%以上	83.8%	83.2%	○	F	
	女	85%以上	81.4%	78.6%	○		
週2日以上運動をしている人の増加	80%以上		78.2%	77.3%	○	F	
喫煙者の減少	男	20%以下	20.0%	25.8%	◎	F	
	女	0.5%以下	2.3%	0.8%	×		
70歳代で自分の歯を20本以上もつ者の割合の増加	30%以上		32.9%	25.5%	◎	F	
介護保険認定率	維持		18.0%	16.3%	×	I	
国保特定健診の受診率の増加	65%		23.3%	35.0%	×	H	
血圧高値者の減少	30%以下		35.0%	36.6%	○	H	
善玉(HDL)コレステロール低値者(40 mg/dℓ未満)の減少	5%以下		7.2%	9.9%	○	H	
BMIが25以上の人の割合の減少	20%以下		23.5%	26.3%	○	H	
ヘモグロビンA1c5.5%以上の人の割合の減少	20%以下		28.0%	26.1%	×	H	
がん検診受診率の増加	子宮頸がん検診		45%以上	38.7%(※2)	40.5%(※2)	×	F
			—	12.1%	14.3%	×	G
" 乳がん検診	35%以上		35.7%	31.7%	◎	F	
	—		16.6%	18.3%	×	G	
" 肺がん検診	75%以上		71.4	74.1%	×	F	
	—		30.1%	42.0%	×	G	
" 胃がん検診	50%以上		37.6%	41.2%	×	F	
	—		12.4%	17.2%	×	G	
" 大腸がん検診	40%以上		40.2%	36.1%	◎	F	
	—		24.4%	26.1%	×	G	
" 前立腺がん検診	50%以上		10.9%	15.7%	×	G	

※2 子宮頸がん検診（隔年受診含む）

F：備前市健康づくりに関するアンケート調査結果（平成25年度）

G：備前市がん検診等結果（平成24年度）

H：備前市特定健診結果（平成24年度）

I：介護保険係月報（平成24年度）

## 備前市食育推進計画

- ◎ 現状値が目標値に達している  
 ○ 現状値が中間評価時(H20)に比べて改善しているが目標値には達していない  
 △ 現状値が中間評価時(H20)に比べてほとんど変化がない  
 × 現状値が中間評価時(H20)よりも悪化している

目標	指標	目標値 (H25年度)	現状値	中間評価時 (H20)	評価	出典	
全体	食育に関心のある人の増加	75%以上	70.9%	63.4%	○	A	
	朝食を毎日食べる人の増加	3歳6か月児	95%以上	92.8%	89.5%	○	B
		95%以上 (小学生)	89.3% (小学5年)	89.7% (小学6年)	△	C	
		85%以上 (中学生)	81.2% (中学2年)	75.2% (中学3年)	○	C	
青・壮年期		(男)60%以上 (女)80%以上	63.3% 73.2%	50.9% 72.2%	◎ ○	A	
食を知る	食事バランスガイドの言葉も内容も知っている人の増加	40%以上	24.4%	28.5%	×	A	
	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している人の増加	90%以上	79.3%	79.8%	×	A	
	食品を選んだり、食事を整えるのに困らない知識や技術のある人の増加	65%以上	65.1%	58.4%	◎	A	
	自分の食事に問題があると思う人のうち、改善意欲のある人の増加	成人	(男)80%以上	53.3%	68.5%	×	A
			(女)90%以上	63.0%	83.9%	×	
	外食や食品購入時に栄養成分表示を参考にする人の増加	65%以上	56.9%	54.3%	○	A	
	栄養成分表示に協力する施設の増加	20件以上	24件	13件	◎	D	
	食をつくる	調理体験を実施している保育園、幼稚園の増加	60%	84%	47.6%	◎	E
農業体験を実施している保育園、幼稚園の増加		100%	100%	100%	◎	E	
食を楽しむ	食事が楽しい人の増加	90%以上	81.4%	83.7%	×	A	
	学校給食における地場産物(岡山県産品)を使用する割合の増加	45%以上	52.8%	43%	◎	F	

- A : 備前市健康づくりに関するアンケート (平成 25 年度)  
 B : 備前市幼児健診データ (平成 24 年度)  
 C : 備前市学校栄養士会「児童生徒の食生活・日常生活習慣等の調査」結果  
 対象 : 市内小学 5 年生、中学 2 年生 (平成 25 年度)  
 D : 岡山県備前保健所東備支所集計 (平成 24 年度)  
 E : 備前市保健課集計 (平成 24 年度)  
 F : 岡山県教育庁保健体育課調査 (平成 24 年度)